

身体に障がい等のある受験者に対して配慮する事項

対象となる者			特別に配慮する事項（審査の上特別に認められる事項）				
			必ず行う事項				受験者からの希望により 特別に認められる事項（例）
			解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意 されるもの	
視覚障がい者	日常生活で 点字を使用している者		点字による 出題・解答	1.5 倍 (180 分)	別室	点字問題冊子 点字用解答用紙	・録音テープ等試験問題（CD （コンパクトディスク））の併用 ・試験会場への乗用車での入構 ・点字器等の持参使用 ・試験室までの付き添い者の同伴
	上記以外の強度の弱視 者で良い方の目の矯正 視力が 0.15 未満の者		文字による 解答	1.3 倍 (156 分)	別室	文字解答用紙	・拡大文字問題冊子の配布 （文字の拡大率が一般試験問 題の 1.6 倍、面積倍率は一般 試験問題の 2.7 倍） ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の準備
	上 記 以 外 の 視 覚 障 がい者	比較的重度 の者	文字による 解答	一般受験者 と同じ	別室	文字解答用紙	
		上記以外 の者	なし（一般受験者と同じ）				
聴覚障がい者	両耳の平均聴力レベルが 100 デシベル以上の者		なし（一般受験者と同じ）				・手話通訳者の付与 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器の持参使用
	上記以外の聴覚障がい者		なし（一般受験者と同じ）				・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器の持参使用
肢体不自由者	体幹の機能障がいにより 座位を保つことがで きない者又は困難な者		チェック による解答	1.3 倍 (156 分)	別室	チェック 解答用紙	・介護者の付与 ・試験室を 1 階に設定 ・洋式トイレに近接する試験室 に指定 ・特製機の持参使用又は試験側 での準備 ・車いすの持参 ・つえの持参使用 ・試験室までの付添者の同伴 ・試験会場への乗用車での入構
	両上肢の機能障がい が著しい者						
	下肢の機能障がいにより 歩行をすることがで きない者又は困難な者		なし（一般受験者と同じ）				
	上 記 以 外 の 肢 体 不 自由者	比較的重度 の者	チェック による解答	1.3 倍 (156 分)	別室	チェック 解答用紙	
上 記 以 外 の 者		なし（一般受験者と同じ）					
その他 病弱者等	慢性の胸部、心臓、腎 臓疾患等の状態で 6 月 以上の医療・生活規制 を必要とする者又はこ れに準ずる者		なし（一般受験者と同じ）				・別室の設定 ・試験室を 1 階に設定 ・つえの持参使用 ・試験室までの付添者の同伴 ・試験会場への乗用車での入構
その他	障がい等を併せもつ者		障がい又は病弱の種類・程度に応じ、上記のそれぞれの該当の欄に記載の事項				